

四半期運用レポート

2015年10月～2015年12月

目次	ページ
1 特別勘定の種類と運用方針	2
2 運用環境	3
3 特別勘定の運用状況	4
4 ≪参考情報≫ 投資信託の運用状況	5～11
5 リスクおよび諸費用	12

利用する投資信託の委託会社のご紹介

アライアンス・バーンスタイン株式会社



アライアンス・バーンスタイン株式会社は、米国ニューヨークに本社を置くアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーを中核とするアライアンス・バーンスタイン*の日本拠点です。アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーは1971年の設立以来、資産運用会社として長年にわたる歴史を有し、世界各国の主要都市に業務展開を行い、個人投資家や富裕層、機関投資家向けに投資信託や年金運用等の投資サービスを提供しています。グローバルな調査体制を擁する世界有数の運用会社として、株式、債券、マルチアセット、オルタナティブ運用など、幅広い資産運用サービスや商品を提供しています。

*アライアンス・バーンスタインには、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社は、米国ステート・ストリート銀行の資産運用部門(SSGA)の東京拠点です。1998年10月1日に業務を開始、投資信託・投資顧問業務を幅広く展開しています。ステート・ストリート銀行は、1792年に米国ボストンに設立された歴史と伝統を有する金融機関であり、卓越した財務内容と高い信用力を有しています。SSGIは、最先端テクノロジーと高度な運用技術を駆使したクオンツ運用に定評があり、特にインデックス運用では世界有数の資産運用会社として評価されています。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社



アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社は、マルチ・エキスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「ユニット・リンク保険(有期型)」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・ 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「ユニット・リンク保険(有期型)」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・ 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)」、「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・ 当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。

ユニット・リンク保険（有期型）

特別勘定の四半期運用レポート（2015年10月～2015年12月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の種類と運用方針について

特別勘定名	基本資産 配分比率	運用方針	利用する投資信託		参照ページ
			投資信託名	委託会社	
安定成長 バランス型	日本株式 20%	主として国内外の株式及び債券を主要投資対象とする投資信託に投資することにより、中長期的に安定した投資成果を目標として運用を行います。実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。基本資産配分は、日本株式20%、外国株式20%、日本債券30%、外国債券30%とし、一定の規律に従いリバランス*1を行います。	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ジャパン・スタイル・ブレンド・ファンド-2	アライアンス・バーンスタイン株式会社	6
	外国株式 20%		アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド <適格機関投資家私募>	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社	7
	日本債券 30%		ステート・ストリート日本債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社	5 (上段)
	外国債券 30%		ステート・ストリート外国債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社	5 (下段)
積極運用 バランス型	日本株式 25%	主として国内外の株式及び債券を主要投資対象とする投資信託に投資することにより、中長期的に安定した投資成果を目標として運用を行います。実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。基本資産配分は、日本株式25%、外国株式35%、日本債券20%、外国債券20%とし、一定の規律に従いリバランス*1を行います。	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ジャパン・スタイル・ブレンド・ファンド-2	アライアンス・バーンスタイン株式会社	6
	外国株式 35%		アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド <適格機関投資家私募>	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社	7
	日本債券 20%		ステート・ストリート日本債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社	5 (上段)
	外国債券 20%		ステート・ストリート外国債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社	5 (下段)
特別勘定名	基本資産 配分比率	利用する投資信託		参照ページ	
		投資信託名	委託会社		
日本株式 プラス型	日本株式 100%	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ジャパン・スタイル・ブレンド・ファンド-2	アライアンス・バーンスタイン株式会社	6	
外国株式 プラス型	外国株式 100%	アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド <適格機関投資家私募>	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社	7	
世界債券 プラス型	世界債券 100%	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・ファンド-3	アライアンス・バーンスタイン株式会社	8	
オーストラリア 債券型	オーストラリア債券 100%	アライアンス・バーンスタイン・オーストラリア債券ファンド (適格機関投資家専用)	アライアンス・バーンスタイン株式会社	9	
新興国 株式型	新興国株式 100%	ステート・ストリート・エマージング株式インデックス・ファンド <適格機関投資家限定>	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社	10	
金融 市場型	短期金融資産 100%	アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・ファンド(B) (適格機関投資家私募)	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社	11	

※ 利用する投資信託の運用方針は、参照ページにある運用方針をご覧ください。

※ 特別勘定の種類、運用方針および委託会社等の運用協力会社は、法令等の改正または効率的な資産運用が困難になる等の理由により、変更されることがあります。

なお、委託会社等の運用協力会社については、運用成績の悪化等、当社がお客さまの資産運用にふさわしくないと判断した場合、変更させていただくことがあります。

※ 特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

※ 安定成長バランス型、積極運用バランス型および外国株式プラス型で利用していた「適格機関投資家私募アライアンス・バーンスタイン・海外株式スタイル・ブレンド・ファンド-1」は、

2015年5月26日に償還され、2015年4月から新たに「アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド<適格機関投資家私募>」に投資しております。

※ オーストラリア債券型および新興国株式型は、2015年5月1日に設定されました。

・ 2ページおよび5ページ～11ページに記載されている「*1～*9」の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型）

特別勘定の四半期運用レポート（2015年10月～2015年12月）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2015年10月～2015年12月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、TOPIX(東証株価指数)が前期末比+9.65%上昇の1,547.30ポイントで終了しました。

10月から11月下旬にかけて、補正予算・法人税減税などの先行きの政策期待などから上昇基調で推移しました。12月は、ECB(欧州中央銀行)の追加金融緩和策への失望や円高の進行などから下落した後、FOMC(米連邦公開市場委員会)での利上げ決定による先行き不透明感の後退などから上昇しましたが、原油先物価格の動きの影響などを受けて小幅な揉み合いで推移して期を終えました。

業種別(東証33業種)では、主要企業の業績拡大期待が強まった「水産・農林業」(前期末比+44.37%)が最も上昇した一方、主要企業の業績動向の不透明感が嫌気された「その他製品」(同△3.33%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は、10月から11月上旬にかけて、米大手金融企業の好決算などを背景に上昇した後、原油安などが懸念され下落しました。11月下旬から12月上旬にかけて、上昇に転じた後、原油先物が軟調に推移したことなどを背景に下落しました。12月中旬以降は、FOMCでの利上げ決定による先行き不透明感の後退などから上昇する場面がありましたが、原油先物価格の動きの影響などを受けて乱高下して期を終えました。NYダウは、前期末比+7.00%上昇の17,425.03ドルで終了しました。

欧州株式市場は、10月から11月下旬にかけて、ECBによる追加金融緩和策の期待の高まりなどから上昇基調で推移しました。12月は、ECBの追加金融緩和が市場の期待を下回る内容だったことなどから下落した後、米国の利上げ実施と今後の利上げペースが緩やかなものになることが示唆されたことなどを好転して、上昇基調で推移しました。市場別騰落率は、英FT100は前期末比+2.98%上昇、仏CAC40は同+4.08%上昇、独DAXは同+11.21%上昇となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、10月から12月上旬にかけて、各国の金融政策の思惑や、国内株式の影響を受けて、金利は小幅な揉み合いで推移しました。12月中旬以降は、日銀が量的・質的金融緩和の補完措置を発表したことなどを好転し、国債市場の需給が一段と引き締まるなどの思惑などから、低下(価格は上昇)しました。新発10年国債利回りは0.270%となりました(前期末は0.350%)。

日銀はマネタリーベースが年間約80兆円に相当するペースで増加するよう金融市場調節を行いました。無担保コール(翌日物)は概ね0.0～0.1%近辺で推移しました。

【外国債券市場】

米国債券市場は、10月から11月中旬にかけて、米国の年内利上げの可能性が意識されたことや中国の追加金融緩和決定が好転されたことなどから金利は上昇(価格は下落)基調で推移した後、低調な米経済指標などを背景に緩やかに低下(価格は上昇)しました。12月は、欧州の追加金融緩和策への失望感や、FOMCでの利上げ決定などから上昇する場面がありましたが、原油先物価格の動きの影響などを受けて揉み合いで推移しました。米10年国債利回りは2.269%となりました(前期末は2.037%)。

欧州債券市場は、10月下旬にかけて、ユーロ圏の追加金融緩和期待を巡り、金利は低下(価格は上昇)した後、米国の利上げ観測が高まったことなどから上昇(価格は下落)しましたが、フランスの同時多発テロ発生などを背景に低下に転じました。12月は、欧州の追加金融緩和策への失望から上昇した後、米国債に連動した動きとなりました。独10年国債利回りは0.629%となりました(前期末は0.587%)。

FRB(米連邦準備制度理事会)は、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を0.25%引き上げ、年0.25～0.50%としました。ECB(欧州中央銀行)は政策金利を据え置き、年0.05%を維持しました。

【外国為替市場】

米ドル/円相場は、前期末比65銭円安ドル高の1ドル=120円61銭となりました。10月から11月上旬にかけて、米国の年内利上げ観測などを背景に円安が進行した後、株式市場の動きなどの影響を受けて、揉み合いで推移しました。12月中旬以降は、FOMCで利上げが決定されたことなどから円安となる場面もありましたが、日銀の追加金融緩和の補完策の中で、ETF(上場投資信託)の新たな買入れ枠は、日銀が過去に買入れた銀行保有株式の売却開始に伴う市場への影響を中和するもので、追加金融緩和ではないとの認識が広がったことなどから、円高が進行しました。

ユーロ/円相場は、前期末比3円20銭円高ユーロ安の1ユーロ=131円77銭となりました。10月中旬にかけて、対米ドルでユーロ買いが円に波及し円安となった後は、ユーロ圏での利下げを含む金融緩和が一段と意識され円高基調で推移しました。12月は、ECBによる追加金融緩和が市場の期待を下回る内容となり、ユーロ買戻しの動きが加速したことなどから円安が進行した後、米ドル/円相場と同様の理由などから、円高基調で推移しました。

日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所:株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型）

特別勘定の四半期運用レポート（2015年10月～2015年12月）

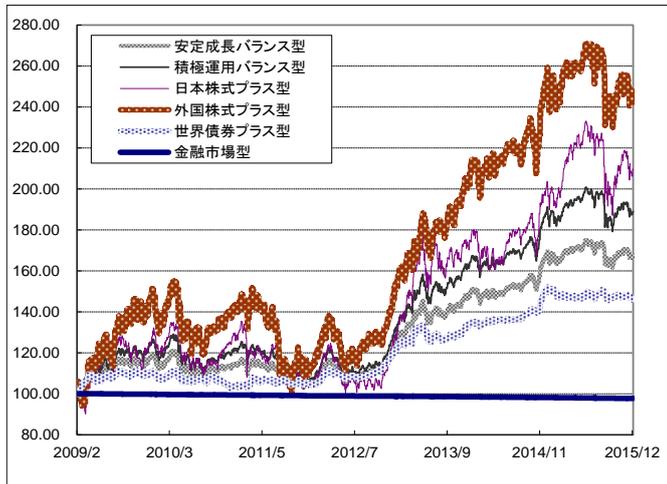
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2015年12月 末日現在]

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。

[2009/2/1に運用を開始した各特別勘定のユニットプライスの推移]



[2015/5/1に運用を開始した各特別勘定のユニットプライスの推移]



		安定成長 バランス型	積極運用 バランス型	日本株式 プラス型	外国株式 プラス型	世界債券 プラス型	オーストラリア 債券型	新興国 株式型	金融市場型
ユニ ット プ ラ イ ス	2015年12月末	167.47	189.04	209.66	247.60	146.07	94.19	77.34	97.69
	2015年11月末	169.72	192.44	215.67	254.05	147.47	93.88	81.08	97.72
	2015年10月末	168.79	190.89	211.07	251.78	147.43	92.73	82.81	97.77
	2015年9月末	162.27	180.29	191.51	230.16	147.02	90.73	76.63	97.80
	2015年8月末	166.67	187.51	205.97	245.10	147.41	92.44	80.96	97.83
	2015年7月末	172.90	197.48	224.28	265.64	149.03	96.05	90.25	97.88
騰 落 率 (%)	過去1ヵ月	▲1.33	▲1.77	▲2.78	▲2.54	▲0.95	0.33	▲4.61	▲0.03
	過去3ヵ月	3.21	4.85	9.48	7.58	▲0.65	3.81	0.92	▲0.12
	過去6ヵ月	▲2.31	▲3.27	▲6.67	▲4.61	▲1.07	▲4.57	▲19.10	▲0.22
	過去1年	▲0.43	0.06	5.90	▲3.03	▲3.46	-	-	▲0.44
	過去3年	38.72	50.21	71.65	74.54	22.32	-	-	▲1.10
	(年率)	11.53	14.52	19.73	20.40	6.95	-	-	▲0.37
	過去5年	49.08	59.09	68.87	80.54	42.55	-	-	▲1.73
	(年率)	8.31	9.73	11.05	12.54	7.35	-	-	▲0.35
設定来	67.47	89.04	109.67	147.61	46.08	▲5.81	▲22.65	▲2.30	

※ オーストラリア債券型と新興国株式型の特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2015年5月1日)の前日を100.00として、それ以外の特別勘定は設定日(2009年2月1日)の前日を100.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

※ 各特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

■特別勘定資産の内訳

項目	安定成長バランス型			積極運用バランス型		
	金額(千円)	比率(%)	基本資産(%)	金額(千円)	比率(%)	基本資産(%)
現預金・その他	131,014	4.4	-	161,720	4.4	-
その他有価証券	2,829,407	95.6	100.0	3,547,011	95.6	100.0
日本株式	557,508	18.8	20.0	877,236	23.7	25.0
外国株式	558,756	18.9	20.0	1,231,292	33.2	35.0
日本債券	865,405	29.2	30.0	726,682	19.6	20.0
外国債券	847,737	28.6	30.0	711,799	19.2	20.0
合計	2,960,421	100.0	100.0	3,708,732	100.0	100.0

項目	日本株式プラス型		外国株式プラス型		世界債券プラス型	
	金額(千円)	比率(%)	金額(千円)	比率(%)	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	47,567	4.1	188,760	4.4	46,025	4.7
その他有価証券	1,103,112	95.9	4,123,470	95.6	939,964	95.3
合計	1,150,679	100.0	4,312,230	100.0	985,989	100.0
項目	オーストラリア債券型		新興国株式型		金融市場型	
	金額(千円)	比率(%)	金額(千円)	比率(%)	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	7,075	4.9	10,219	4.7	11,479	7.9
その他有価証券	138,180	95.1	205,727	95.3	133,662	92.1
合計	145,255	100.0	215,947	100.0	145,141	100.0

※ 各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

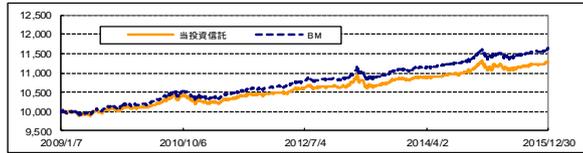
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の四半期運用レポート（2015年10月～2015年12月）

- 「特別勘定 安定成長バランス型」「特別勘定 積極運用バランス型」で利用している投資信託の情報を記載しております。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

【参考情報】ステート・ストリート日本債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定> [2015年12月末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2009年1月8日)の前日を10,000として指数化しています。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.58%	0.88%	1.56%	0.71%	6.31%	12.98%
BM	0.63%	1.00%	1.75%	1.07%	7.46%	16.36%
差	▲0.05%	▲0.11%	▲0.19%	▲0.36%	▲1.15%	▲3.38%

- ※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年1月8日)の前日を起点として計算しています。
- ※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
- ※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 組入上位10銘柄

銘柄	クーポン	償還日	マザーファンド	BM
1 第124 回利付国債	0.100%	2020年6月20日	1.48%	0.89%
2 第340 回利付国債	0.400%	2025年9月20日	1.15%	0.88%
3 第298 回利付国債	1.300%	2018年12月20日	1.11%	0.48%
4 第286 回利付国債	1.800%	2017年6月20日	1.03%	0.46%
5 第337 回利付国債	0.300%	2024年12月20日	1.01%	0.56%
6 第297 回利付国債	1.400%	2018年12月20日	0.84%	0.28%
7 第333 回利付国債	0.600%	2024年3月20日	0.83%	0.85%
8 第334 回利付国債	0.600%	2024年6月20日	0.83%	0.88%
9 第111 回利付国債	0.400%	2018年3月20日	0.81%	0.34%
10 第339 回利付国債	0.400%	2025年6月20日	0.78%	0.89%
合計			9.88%	6.50%
組入銘柄数			639銘柄	

※ 「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

■当投資信託について

【投資信託名】 ステート・ストリート日本債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>
【委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本の公社債等に投資を行い、ベンチマーク(NOMURA-BPI 総合指数²)に連動した投資成果をめざします。
※ 当投資信託は、主としてステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券に投資します。

○ 債券種別資産構成比率

	マザーファンド	BM	差
国債	79.53%	81.14%	▲1.61%
地方債	5.93%	5.86%	0.07%
政府保証債	3.51%	3.37%	0.14%
金融債	0.94%	0.86%	0.08%
事業債	7.56%	6.90%	0.66%
円建外債	0.75%	0.59%	0.16%
MBS債	1.43%	1.27%	0.16%
コール・その他	0.36%	0.00%	0.36%
合計	100.00%	100.00%	0.00%

※ 資産担保証券(ABS)は事業債に含まれています。

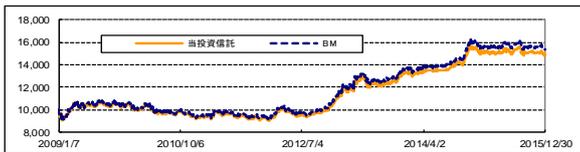
○ ポートフォリオの状況

	マザーファンド	BM	差
平均複利利回り	0.33%	0.32%	0.00%
平均クーポン	1.34%	1.18%	0.16%
平均残存期間	9.15	9.12	0.03
修正デュレーション	8.32	8.32	0.01

- ※ 「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。
- ※ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ※ 2013年11月より、BMの数値はポートフォリオの属性分析を行っている大和Poetにより、委託会社が計算して掲載しております。

【参考情報】ステート・ストリート外国債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定> [2015年12月末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2009年1月8日)の前日を10,000として指数化しています。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	▲1.44%	▲1.48%	▲2.08%	▲4.95%	34.80%	48.55%
BM	▲1.41%	▲1.38%	▲1.89%	▲4.52%	36.68%	53.72%
差	▲0.03%	▲0.10%	▲0.19%	▲0.43%	▲1.88%	▲5.17%

- ※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年1月8日)の前日を起点として計算しています。
- ※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
- ※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 組入上位10銘柄

銘柄	通貨	クーポン	償還日	マザーファンド	BM
1 アメリカ国債	米ドル	2.000%	2025年2月15日	0.90%	0.43%
2 アメリカ国債	米ドル	2.000%	2022年2月15日	0.89%	0.20%
3 アメリカ国債	米ドル	2.250%	2024年11月15日	0.88%	0.44%
4 アメリカ国債	米ドル	1.375%	2020年1月31日	0.88%	0.15%
5 アメリカ国債	米ドル	2.500%	2024年5月15日	0.73%	0.43%
6 アメリカ国債	米ドル	1.875%	2017年9月30日	0.68%	0.16%
7 アメリカ国債	米ドル	3.625%	2021年2月15日	0.67%	0.33%
8 アメリカ国債	米ドル	8.000%	2021年11月15日	0.66%	0.08%
9 アメリカ国債	米ドル	3.625%	2020年2月15日	0.65%	0.32%
10 アメリカ国債	米ドル	2.000%	2021年5月31日	0.65%	0.18%
合計				7.57%	2.71%
組入銘柄数				447銘柄	

- ※ 「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。
- ※ ベンチマーク(BM)の比率は2015年12月29日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場仲値で円換算したものです。

■当投資信託について

【投資信託名】 ステート・ストリート外国債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>
【委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本を除く世界主要国の国債、政府機関債等に投資を行い、ベンチマーク(シティ世界国債インデックス³(除く日本、ヘッジなし・円ベース))に連動した投資成果をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
※ 当投資信託は、主としてステート・ストリート外国債券インデックス・マザーファンド受益証券に投資します。

○ 組入上位10カ国

国名	マザーファンド	BM
1 アメリカ	42.80%	42.93%
2 イタリア	9.86%	9.85%
3 フランス	9.59%	9.59%
4 イギリス	8.24%	8.27%
5 ドイツ	7.54%	7.58%
6 ス페인	5.45%	5.43%
7 ベルギー	2.54%	2.55%
8 オランダ	2.52%	2.53%
9 カナダ	1.99%	1.98%
10 オーストラリア	1.80%	1.81%
合計	92.34%	92.54%

○ ポートフォリオの状況

	マザーファンド	BM	差
平均複利利回り	1.40%	1.39%	0.01%
平均クーポン	3.38%	2.79%	0.59%
平均残存期間	8.15	8.04	0.11
修正デュレーション	6.66	6.65	0.01

- ※ 「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。
- ※ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ※ 上記の属性は2015年12月29日時点のものです。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。 ・2ページおよび5ページ～11ページに記載されている「*1～*9」の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

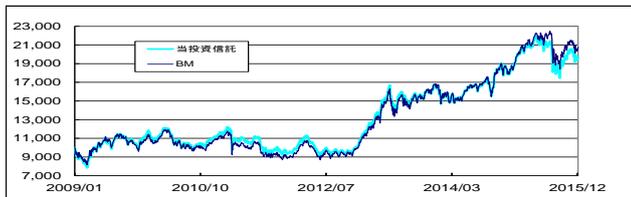
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の四半期運用レポート（2015年10月～2015年12月）

- ・「特別勘定 安定成長バランス型」「特別勘定 積極運用バランス型」「特別勘定 日本株式プラス型」で利用している投資信託の情報を記載しております。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

【参考情報】 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ジャパン・スタイル・ブレンド・ファンド-2 [2015年12月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2009年1月8日)を10,000として指数化しています。

■当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	▲2.80%	10.22%	▲6.84%	6.44%	77.16%	96.95%
BM	▲1.93%	9.83%	▲4.21%	12.06%	90.81%	107.57%
差	▲0.88%	0.39%	▲2.63%	▲5.62%	▲13.65%	▲10.62%

■利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ジャパン・スタイル・ブレンド・ファンド-2
【委託会社】 アライアンス・バーンスタイン株式会社
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、投資スタイルの分散を図り、主として日本の株式を投資対象に信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。バリューストック(割安株)及びグロース株(成長株)への投資配分は、50%程度ずつを基本とし、一定の規律に従い「バランス」を行います。
※ 当投資信託は、主として、バーンスタイン・日本ストラテジック・バリューストック・マザーファンド受益証券、アライアンス・日本大型成長株・マザーファンド受益証券 に投資します。

- ※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年1月8日)を起点として計算しています。
- ※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。
- また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
- ※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、TOPIX(東証株価指数 配当込)⁴です。
- ・ 比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

■当投資信託の詳細情報

○ 資産配分比率

	基本資産配分	投資信託
バリューストックMファンド*	50.00%	49.79%
グロース株Mファンド**	50.00%	50.50%
短期金融資産等	0.00%	-0.29%
合計	100.00%	100.00%

* バリューストックMファンド:バーンスタイン・日本ストラテジック・バリューストック・マザーファンド受益証券
** グロース株Mファンド:アライアンス・日本大型成長株・マザーファンド受益証券

○ 業種別構成比率

業種	投資信託
1 輸送用機器	11.78%
2 電気機器	10.62%
3 情報・通信業	9.81%
4 銀行業	8.67%
5 小売業	6.53%
6 医薬品	5.63%
7 機械	5.59%
8 化学	4.85%
9 その他の業種	35.67%
10 現金等	0.86%
合計	100.00%

○ 市場別構成比率

市場	投資信託
東京証券取引所第一部	99.14%
現金等	0.86%
—	—
—	—
—	—
合計	100.00%

○ 組入上位10銘柄

銘柄	業種	投資信託
1 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.41%
2 日本電信電話	情報・通信業	4.06%
3 トヨタ自動車	輸送用機器	3.18%
4 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.96%
5 日産自動車	輸送用機器	2.69%
6 日本たばこ産業	食料品	2.48%
7 本田技研工業	輸送用機器	2.18%
8 JXホールディングス	石油・石炭製品	2.05%
9 オリックス	その他金融業	1.94%
10 ツルハホールディングス	小売業	1.85%
合計		27.79%
組入銘柄数		103銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前四半期末比+10.22%となりました。一方、ベンチマークであるTOPIX(東証株価指数 配当込)の騰落率は、前四半期末比+9.83%となりました。(以下、バリューストックMファンドは委託会社独自のセクター別、グロース株MファンドはGICSセクター別で記載。)
ベンチマークとの比較では、バリューストックMファンドは、セクター配分、銘柄選択ともにプラスに寄与し、消費財・シクリカル・セクターのアンダーウェイトや、資本財セクターでの銘柄選択などがプラス要因となりました。グロース株Mファンドは、セクター配分はプラス寄与、銘柄選択はマイナス寄与となり、電気通信サービス・セクターのオーバーウェイトなどはプラス要因、資本財・サービス・セクターでの銘柄選択などはマイナス要因となりました。各マザーファンドに対する基本資産配分を概ね維持しました。
引き続き投資スタイルの分散を行い、バリューストックMファンドについては、企業のファンダメンタルズ分析に基づく個別銘柄選択を付加価値の源泉とした割安銘柄のボトムアップ投資、グロース株Mファンドについては、綿密な個別企業の調査に基づいて、業績および潜在成長力が市場で過小評価されていると考える成長銘柄を中心に投資し、信託財産の長期的な成長を図ることをめざします。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・2ページおよび5ページ～11ページに記載されている「*1～*9」の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の四半期運用レポート（2015年10月～2015年12月）

- ・「特別勘定 安定成長バランス型」「特別勘定 積極運用バランス型」「特別勘定 外国株式プラス型」で利用している投資信託の情報を記載しております。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

【参考情報】アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド <適格機関投資家私募> [2015年12月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2015年3月23日)を10,000として指数化しています。

■利用する投資信託について

【投資信託名(※1)】アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド <適格機関投資家私募>
【委託会社(※2)】アクサ・インベストメント・マネージャー株式会社
【運用方針】

マザーファンドの受益証券への投資を通じて日本を除く世界各国の金融商品取引所上場株式への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
※ 当投資信託は、主としてアクサ IM・グローバル(日本除く)株式マザーファンド受益証券に投資します。

※1.2「適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・海外株式スタイル・ブレンド・ファンド-1」(委託会社:アライアンス・バーンスタイン株式会社)は、2015年5月26日に償還されました。

■当投資信託の騰落率

投資信託	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定以来
BM	▲2.58%	8.36%	▲4.64%	—	—	▲4.70%
差	▲2.79%	6.81%	▲3.74%	—	—	▲3.38%
差	0.22%	1.54%	▲0.91%	—	—	▲1.32%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2015年3月23日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものととして計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCIコクサイ指数¹⁵(配当込み/グロス/日本円換算)です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 国別構成比率

国名	マザーファンド
1 アメリカ	60.77%
2 イギリス	8.19%
3 フランス	3.92%
4 カナダ	3.83%
5 スイス	3.72%
6 ドイツ	3.72%
7 オーストラリア	2.85%
8 オランダ	1.75%
9 その他の国	10.54%
10 現金等	0.72%
合計	100.00%

・ 比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

○ セクター別構成比率

セクター	マザーファンド
1 医薬品・バイオテクノロジー	10.75%
2 銀行	9.54%
3 ソフトウェア・サービス	9.17%
4 資本財	6.88%
5 食品・飲料・タバコ	6.63%
6 小売	5.25%
7 エネルギー	5.17%
8 素材	4.62%
9 その他業種	41.27%
10 現金等	0.72%
合計	100.00%

○ 組入上位10銘柄

銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1 APPLE INC.	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	1.85%
2 ALPHABET INC-CL A	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.61%
3 JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	1.41%
4 AT&T INC.	アメリカ	電気通信サービス	1.20%
5 MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.12%
6 PFIZER INC.	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	1.06%
7 EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	0.98%
8 INTEL CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	0.88%
9 PEPSICO INC.	アメリカ	食品・飲料・タバコ	0.84%
10 NOVARTIS AG	スイス	医薬品・バイオテクノロジー	0.84%
合計			11.77%
組入銘柄数			592銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前四半期末比+8.36%となりました。一方、ベンチマークであるMSCIコクサイ指数(配当込み/グロス/日本円換算)の騰落率は前四半期末比+6.81%となりました。当四半期のグローバル(日本除く)株式市場は、企業の借り入れ依存度の高い銘柄が相対的に下落する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で少なめに保有していたことはプラスへ寄与しました。委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で、少なめに保有していた石油や金属が下落したことはプラスに寄与しました。地域別では上昇した日本を除くアジア地域の銘柄を少なめに保有していたことはマイナスに寄与しました。一方、個別銘柄では、ベンチマーク対比で、多めに保有していた素材のTHE DOW CHEMICAL COMPANY(アメリカ)が上昇したことはプラスに寄与しましたが、少なめに保有していたソフトウェア・サービスのMICROSOFT CORP(アメリカ)が上昇したことはマイナスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、日本を除く世界各国の株式の中で、個別銘柄の市場価格が適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・ 2ページおよび5ページ～11ページに記載されている「*1～*9」の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

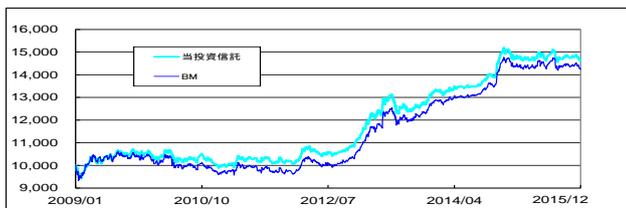
ユニット・リンク保険（有期型）

特別勘定の四半期運用レポート（2015年10月～2015年12月）

- ・「特別勘定 世界債券プラス型」で利用している投資信託の情報を記載しております。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

【参考情報】 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・ファンド-3 [2015年12月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2009年1月8日)を10,000として指数化しています。

■当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	▲0.93%	▲0.54%	▲0.87%	▲3.18%	25.61%	46.42%
BM	▲1.14%	▲0.87%	▲1.17%	▲3.46%	28.94%	42.41%
差	0.21%	0.33%	0.30%	0.28%	▲3.34%	4.01%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年1月8日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、シティ世界国債インデックス(円ベース)[®]です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 国/地域別構成比率

国名	マザーファンド
1 アメリカ	35.35%
2 日本	16.83%
3 イギリス	9.18%
4 イタリア	8.57%
5 ドイツ	4.80%
6 フランス	3.89%
7 オーストラリア	3.59%
8 カナダ	2.74%
9 その他の国/地域	13.30%
10 現金等	1.75%
合計	100.00%

○ 格付別構成比率

格付	マザーファンド
AAA	51.61%
AA	8.23%
A	25.38%
BBB	13.03%
BB以下	0.00%
現金等	1.75%
合計	100.00%

格付基準:

※ ムーディーズ社またはスタンダード・アンド・プアーズ(S&P)社のうち、いずれか高いほうを採用しています。

○ 債券種別資産構成比率

債券種別	マザーファンド
1 国債・政府機関債等	86.39%
2 社債	11.86%
3 現金等	1.75%
合計	100.00%

○ 組入上位10銘柄

銘柄	国名	クーポン	償還日	格付		マザーファンド
				ムーディーズ	S&P	
1 米国国債	アメリカ	1.500%	2016年6月30日	Aaa	AA+	3.14%
2 ドイツ国債	ドイツ	1.000%	2025年8月15日	Aaa	AAA	2.97%
3 日本国債	日本	0.300%	2018年3月20日	A1	A+	2.79%
4 米国国債	アメリカ	0.625%	2017年5月31日	Aaa	AA+	2.60%
5 日本国債	日本	1.400%	2034年9月20日	A1	A+	2.54%
6 米国国債	アメリカ	0.125%	2019年4月15日	Aaa	AA+	2.29%
7 イタリア国債	イタリア	1.350%	2022年4月15日	Baa2	BBB-	2.19%
8 イギリス国債	イギリス	5.000%	2025年3月7日	Aa1	AAA	2.16%
9 米国国債	アメリカ	2.000%	2021年11月15日	Aaa	AA+	2.13%
10 米国国債	アメリカ	1.125%	2019年12月31日	Aaa	AA+	2.12%
合計						24.92%
組入銘柄数						173銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前四半期末比▲0.54%、一方、ベンチマークであるシティ世界国債インデックス(円ベース)の騰落率は前四半期末比▲0.87%となりました。

ベンチマークとの比較では、マザーファンドにおいて、英ポンドを低めの比率とした通貨配分や日本における残存期間戦略などが主なプラス要因となった一方、米国を高めめの比率とした国別配分などが主なマイナス要因となりました。マザーファンドのポートフォリオでは、国債については、イギリス国債やメキシコ国債などを買い増し、米国国債やカナダ国債などを一部売却しました。ユーロ圏の国債については、ドイツ国債やイタリア国債などを買い増し、スペイン国債などを一部売却しました。社債については、総合保険セクターの銘柄などを買い増し、金融セクターの銘柄を一部売却しました。

委託会社は、世界経済は緩やかな成長が続くと見えています。国債については、日本について、相対的な魅力度の観点から組入れを低めとするほか、ユーロ圏についても、主要国を中心に組入れを低めとする方針です。投資適格社債については、企業の財務状況は健全であり、収益力も高いと判断していることなどから、現在の組入比率を維持する方針です。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

○ ポートフォリオの状況

	マザーファンド
平均複利利回り	1.40%
平均クーポン	2.24%
平均残存期間	7.75
実効デュレーション	6.51

※ 「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

※ 「実効デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の感応度を示します。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・2ページおよび5ページ～11ページに記載されている「*1～*9」の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

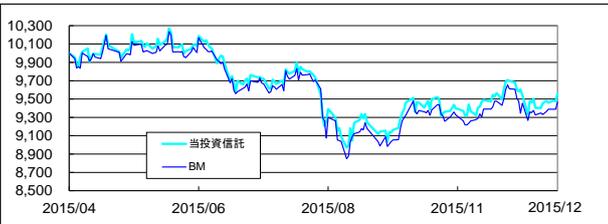
ユニット・リンク保険（有期型）

特別勘定の四半期運用レポート（2015年10月～2015年12月）

- ・「特別勘定 オーストラリア債券型」で利用している投資信託の情報を記載しております。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

【参考情報】アライアンス・バーンスタイン・オーストラリア債券ファンド（適格機関投資家専用） [2015年12月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2015年4月10日)を10,000として指数化しています。

■当投資信託の騰落率

	過去 1か月	過去 3か月	過去 6か月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	0.65%	4.60%	▲3.84%	-	-	▲4.40%
BM	0.38%	5.07%	▲4.47%	-	-	▲5.33%
差	0.27%	▲0.47%	0.63%	-	-	0.93%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2015年4月10日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、ブルームバーグ・オーストラリア国債インデックス⁷⁾(円換算)です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 国/地域別構成比率

国名	マザーファンド
1 オーストラリア	96.22%
2 香港	2.47%
3 -	-
4 -	-
5 -	-
6 -	-
7 -	-
8 その他の国/地域	0.00%
9 債券先物	0.00%
10 現金等	1.31%
合計	100.00%

○ 格付別構成比率

格付	マザーファンド
AAA	93.74%
AA	4.94%
A	0.00%
BBB	0.00%
BB以下	0.00%
債券先物	0.00%
現金等	1.31%
合計	100.00%

格付基準:

※ ムーディーズ社またはスタンダード・アンド・プアーズ(S&P)社のうち、

いずれか高いほうを採用しています。

○ 債券種別資産構成比率

債券種別	マザーファンド
1 国債・政府機関債等	93.74%
2 社債	4.94%
3 債券先物	0.00%
4 現金等	1.31%
合計	100.00%

○ 組入上位10銘柄

銘柄	国名	クーポン	償還日	格付		マザーファンド
				ムーディーズ	S&P	
1 オーストラリア国債	オーストラリア	3.250%	2018年10月21日	Aaa	AAA	17.44%
2 オーストラリア国債	オーストラリア	5.250%	2019年3月15日	Aaa	AAA	17.22%
3 オーストラリア国債	オーストラリア	4.250%	2026年4月21日	Aaa	AAA	11.83%
4 オーストラリア国債	オーストラリア	3.250%	2025年4月21日	Aaa	AAA	7.64%
5 オーストラリア国債	オーストラリア	5.750%	2022年7月15日	Aaa	AAA	6.76%
6 オーストラリア国債	オーストラリア	6.000%	2017年2月15日	Aaa	AAA	6.71%
7 オーストラリア国債	オーストラリア	5.500%	2023年4月21日	Aaa	AAA	6.32%
8 オーストラリア国債	オーストラリア	5.750%	2021年5月15日	Aaa	AAA	5.67%
9 オーストラリア国債	オーストラリア	4.500%	2033年4月21日	Aaa	AAA	4.26%
10 オーストラリア国債	オーストラリア	3.250%	2029年4月21日	Aaa	AAA	4.13%
合計						87.98%
組入銘柄数						14銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前四半期末比+4.60%、一方、ベンチマークであるブルームバーグ・オーストラリア国債インデックス(円換算)の騰落率は前四半期末比+5.07%となりました。

ベンチマークとの比較では、マザーファンドにおいて、金利の動きに対する感応度を小さめとしたことなどはプラス要因だったものの、日本円を現金として保有していたことなどがマイナス要因となりました。マザーファンドのポートフォリオでは、オーストラリア国債を中心に投資を行うとともに、相対的な魅力度が高いと判断したオーストラリア・ドル建ての社債への投資も行いました。

委託会社は、世界経済は緩やかな成長が続くと見ている一方、オーストラリア経済は2016年は緩やかな減速を予想しています。オーストラリア中央銀行は当面は金利を据え置くものの、同国経済の状況が一段と悪化した場合には追加利下げが検討される可能性も見ています。今後も引き続き、オーストラリア・ドル建ての国債、政府機関債、社債等に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・2ページおよび5ページ～11ページに記載されている「*1～*9」の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

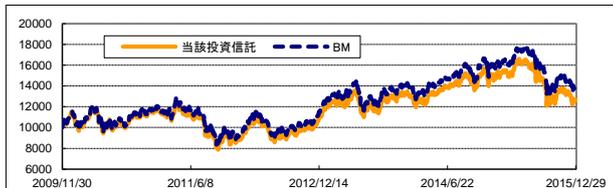
ユニット・リンク保険（有期型）

特別勘定の四半期運用レポート（2015年10月～2015年12月）

- ・「特別勘定 新興国株式型」で利用している投資信託の情報を記載しております。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

【参考情報】ステート・ストリート・エマージング株式インデックス・ファンド <適格機関投資家限定> [2015年12月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2009年11月30日)を10,000として指数化しています。

■利用する投資信託について

【投資信託名】 ステート・ストリート・エマージング株式インデックス・ファンド <適格機関投資家限定>
 【委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、中長期的に新興国の株式市場(MSCIエマージング・マーケット・インデックス[®](円ベース))の動きに連動した投資成果の獲得をめざして運用を行うことを基本とします。外貨建資産については、ベンチマークとの連動性を維持することを目的とする場合を除き、原則として為替ヘッジを行いません。

※ 当投資信託は、主としてステート・ストリート・エマージング株式インデックス・マザーファンド受益証券に投資します。

■当投資信託の騰落率

投資信託	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	▲4.73%	2.85%	▲18.48%	▲16.82%	10.29%	25.98%
BM	▲4.36%	3.92%	▲16.84%	▲14.06%	15.38%	38.65%
差	▲0.37%	▲1.07%	▲1.64%	▲2.76%	▲5.10%	▲12.68%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年11月30日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCIエマージング・マーケット・インデックス[®](円ベース)です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○資産配分比率

	マザーファンド
外国株式	93.62%
株式先物	6.30%
短期金融資産等	0.08%
合計	100.00%

○国/地域別構成比率

順位	国名	マザーファンド
1	中国	25.01%
2	韓国	14.45%
3	台湾	11.17%
4	インド	8.28%
5	南アフリカ	6.71%
6	株式先物	6.30%
7	ブラジル	5.12%
8	メキシコ	4.18%
9	その他の国/地域	18.69%
10	現金等	0.08%
	合計	100.00%

○セクター別構成比率

順位	セクター	マザーファンド
1	金融	26.79%
2	情報技術	19.83%
3	一般消費財・サービス	9.11%
4	生活必需品	7.26%
5	資本財・サービス	6.93%
6	エネルギー	6.64%
7	電気通信サービス	6.39%
8	株式先物	6.30%
9	その他のセクター	10.68%
10	現金等	0.08%
	合計	100.00%

○組入上位10銘柄

順位	銘柄	国名	セクター	業態	マザーファンド
1	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	情報技術	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.32%
2	TENCENT HOLDINGS LTD	中国	情報技術	ソフトウェア・サービス	2.82%
3	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING CO LTD	台湾	情報技術	半導体・半導体製造装置	2.79%
4	CHINA MOBILE LTD	中国	電気通信サービス	電気通信サービス	1.95%
5	CHINA CONSTRUCTION BANK CORP	中国	金融	銀行	1.60%
6	NASPERS LTD	南アフリカ	一般消費財・サービス	メディア	1.53%
7	INDUSTRIAL AND COMMERCIAL BANK OF CHINA LTD	中国	金融	銀行	1.21%
8	ALIBABA GROUP HOLDINGS LTD	中国	情報技術	ソフトウェア・サービス	1.18%
9	BANK OF CHINA LTD	中国	金融	銀行	0.98%
10	BAIDU, INC.	中国	情報技術	ソフトウェア・サービス	0.92%
	合計				18.29%
	組入銘柄数				370銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■運用環境

当四半期の新興国株式市場は、米国の利上げ時期に対する思惑や原油価格の動向などに左右される展開となりました。10月は、米早期利上げ観測の後退や欧州の追加緩和観測、中国の政策期待などを背景にリスク志向が強まり上昇しました。月末にかけては、米連邦公開市場委員会(FOMC)声明で12月の利上げ観測が高まったことなどが嫌気され下落しました。韓国市場では主要企業の業績改善期待などを受けて堅調だったほか、インドネシア市場では追加の景気対策発表が株価上昇に繋がりました。11月は、冴えない中国経済指標やパリ同時多発テロなどを受けて中旬にかけて下落しました。その後は米FOMC議事録要旨で米利上げ時期を巡る不透明感が和らいだことなどから上昇する場面があったものの、月末にかけてはトルコによるロシア機撃墜や中国株急落などが嫌気され下落しました。原油価格の下落が嫌気されたカタール市場では大幅下落となりました。12月は、市場の期待を下回る欧州中央銀行(ECB)の追加緩和策や、石油輸出国機構(OPEC)総会後の原油価格下落などが嫌気され中旬にかけて下落しました。その後は米FOMCで利上げが決定され米金融政策を巡る不透明感が後退したことを背景に上昇基調に転じました。南アフリカ市場では、歳出削減に取り組んできたネネ財務相の突然の更迭を受けて同国の財政不安が高まったことなどを背景に下落しました。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・2ページおよび5ページ～11ページに記載されている「*1～*9」の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

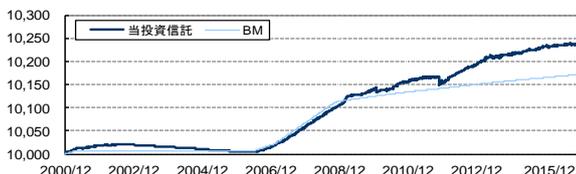
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の四半期運用レポート（2015年10月～2015年12月）

- ・「特別勘定 金融市場型」で利用している投資信託の情報を記載しております。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

【参考情報】 アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・ファンド(B) (適格機関投資家私募) [2015年12月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を10,000として指数化しています。

■当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	0.01%	0.01%	0.03%	0.07%	0.43%	2.38%
BM	0.01%	0.02%	0.04%	0.07%	0.22%	1.72%
差	0.00%	▲0.01%	▲0.01%	▲0.00%	0.22%	0.66%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、日本円無担保コールオーバーナイト物レート⁹⁾により日々運用したときに得られる投資収益を指数化したものです。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○資産構成

	修正デュレーション	マザーファンド
公社債	0.74年	90.64%
国債	0.00年	0.00%
地方債	0.00年	0.00%
特殊債・財投債	0.00年	0.00%
金融債	0.00年	0.00%
社債等	0.74年	90.64%
その他	0.00年	0.00%
短期資産等	0.07年	9.36%
CD		0.00%
CP		0.00%
T-Bill		1.68%
コールローン		7.69%
その他		0.00%
合計	0.67年	100.00%

○公社債の格付別構成比率

格付区分	マザーファンド
AAA	0.00%
AA	52.46%
A	41.74%
BBB	5.80%
BB以下(無格付含)	0.00%
合計	100.00%

格付基準:※ 海外格付機関の格付を優先します。

※ コールローンは格付別構成比率には含めていません。

(公社債の格付別構成比率と短期資産等の格付別構成比率の合計が100%になります。)

※ 海外格付機関の格付取得の無い発行体は、国内格付機関の格付を採用します。

※ T-Bill等国債同等の無格付短期資産においては短期格付をP-1格とします。

※ T-Billに分類された1年未満の国債については「○公社債の格付別構成比率」に含めています。

※ 「T-Bill」には、残存期間が1年未満の国債を含みます。

※ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

○短期資産等の格付別構成比率

格付区分	マザーファンド
P-1	0.00%
P-2	0.00%
P-3	0.00%
無格付	0.00%
合計	0.00%

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前四半期末比+0.01%、一方、ベンチマークである日本円無担保コールオーバーナイト物レートは前四半期末比+0.02%となりました。日銀の短期国債買入に伴う需給逼迫により短期国債の入札が順調であったことから、当四半期末の2年国債利回りは前四半期末比0.029%下落のマイナス0.009%となりました。

委託会社は、国内債券市場が日銀の金融緩和と政策によって引き続き低金利で推移するとみています。今後の運用方針として、年限の短い国債への投資で流動性を確保しつつ、国債の組入れを減らしてクレジットリスクの低い社債へ投資して、安定した運用と利回りの向上をめざす方針です。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・2ページおよび5ページ～11ページに記載されている「*1～*9」の用語説明は、11ページに記載しています。

用語説明

- *1 「リバランス」とは、当初決定した基本資産配分に向けて調整することをいいます。
- *2 「NOMURA-BPI総合指数」とは、日本国内で発行される公募固定利付債の流通市場動向を的確に表すために、野村證券株式会社によって計算、公表されている投資収益指数です。NOMURA-BPI総合指数は野村證券株式会社の知的財産です。野村證券株式会社は、当特別勘定の運用成果等に関し、一切責任はありません。
- *3 「シティ世界国債インデックス」とは、Citigroup Index LLCが算出・公表する指数で、1984年12月末日を100として世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均し指数化したものです。シティ世界国債インデックスに対する著作権、知的財産権その他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。
- *4 「TOPIX(東証株価指数 配当込)」とは、東京証券取引所第一部に上場されている普通株式全銘柄の時価総額を指数化し、配当収益を考慮したインデックスであり、市場全体の動向を反映するものです。TOPIX(東証株価指数)は、株式会社東京証券取引所(以下東京証券取引所)の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- *5 「MSCIコクサイ指数」とは、MSCI Inc.が日本を除く世界の先進国株式市場のパフォーマンスを測るために開発した指数で、各国の株式時価総額等をベースに算出されたものです。MSCIコクサイ・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- *6 「シティ世界国債インデックス(円ベース)」とは、Citigroup Index LLCが算出・公表する指数で、1984年12月末日を100として世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均し指数化したものです。シティ世界国債インデックス(円ベース)に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。
- *7 「ブルームバーグ・オーストラリア国債インデックス」は、ブルームバーグが算出・公表する指数で、オーストラリアの債券市場の値動きを表す代表的な指数です。当該インデックスに関する知的財産権およびその他の一切の権利はブルームバーグ エル・ピーに帰属します。
- *8 「MSCIエマーゼィング・マーケット・インデックス」とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国の株式の総合投資収益を各市場の時価総額比率で加重平均し、指数化したものです。「MSCIエマーゼィング・マーケット・インデックス(円ベース)」に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- *9 日本円無担保コールオーバーナイト物レート⁹⁾について。コール市場とは、民間金融機関が短期的な手元資金の余剰や不足を調整するための市場をいいます。このコール市場において、金融機関間で、担保なしで、翌日に返済することを条件に、短期の資金を貸し・借りする取引に適用される金利を「無担保コールオーバーナイト物レート」といいます。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型）のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

この保険は積立金額、払いもどし金額および満期保険金額などが特別勘定資産の運用実績に応じて変動（増減）するしくみの保険です。特別勘定資産の運用には、資産配分リスク、株価変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、カントリーリスク、流動性リスク、為替リスク、派生商品取引のリスクなどがあり、ご契約を解約した場合の払いもどし金額や満期保険金額などが払込保険料総額を下回る場合があります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、これらのリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待どおりでなかった場合でも、当社または第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

【諸費用について】

＜保険料払込時および保険期間中にかかる費用＞（以下の各費用の合計額をご負担いただきます。）

●保険関係費

保険契約の締結、維持などに必要な費用を主契約の保険料から控除します。保険料からこの費用を控除した金額を特別勘定に繰り入れます。また、特別勘定に繰り入れた後に、死亡保障などに必要な費用を積立金額から定期的に控除します。なお、上記の費用は、被保険者の年齢、性別などにより異なるため、具体的な金額や上限額を表示することができません。契約条件に関する特約（08）を付加し、特別保険料の付加の条件が適用された場合は、特別保険料をご負担いただきます。特別保険料は特別勘定では運用いたしません。特別保険料は契約条件・特別条件承諾書でご確認ください。

●運用関係費

項目	費用(投資信託の純資産に対して)	ご負担いただく時期
運用関係費	安定成長バランス型 : 年率 0.53676%程度 (税抜:0.4970%程度) * 1	特別勘定にて 利用する投資信託において、 毎日、 投資信託の純資産額から 控除します。
	積極運用バランス型 : 年率 0.59454%程度 (税抜:0.5505%程度) * 1	
	日本株式プラス型 : 年率 1.02600%程度 (税抜:0.9500%程度)	
	外国株式プラス型 : 年率 0.54000%程度 (税抜:0.5000%程度)	
	世界債券プラス型 : 年率 0.70200%程度 (税抜:0.6500%程度)	
	オーストラリア債券型 : 年率 0.33480%程度 (税抜:0.3100%程度)	
	新興国株式型 : 年率 0.54000%程度 (税抜:0.5000%程度)	
金融市場型 : 年率 0.03510%~0.49680%程度 (税抜:0.0325%~0.4600%程度) * 2		

※ 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。

信託報酬のほか、信託事務の諸費用など、有価証券の売買委託手数料および消費税などの税金などの諸費用がかかりますが、これらの諸費用は運用資産額や取引量などによって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの諸費用を間接的に負担することとなります。

これらの運用関係費は、特別勘定の廃止もしくは統合・運用協力会社の変更・運用資産額の変動などの理由により、将来変更される可能性があります。

* 1 「安定成長バランス型」および「積極運用バランス型」の運用関係費は、主な投資対象である投資信託の信託報酬率を基本資産配分比率で加重平均した概算値です。各投資信託の信託報酬率はそれぞれ異なりますので、各投資信託の価格の変動などに伴う実際の配分比率の変動により、運用関係費も若干変動します。

* 2 「金融市場型」の運用関係費は、各月の前月最終5営業日における無担保コールオーバーナイト物レートの平均値に応じて毎月見直されます。

※ 安定成長バランス型、積極運用バランス型および外国株式プラス型の運用関係費は、2015年4月に新たに投資することになった投資信託の信託報酬率を元にしたものです。2015年5月26日に償還された投資信託の信託報酬率を元にしたものは以下のとおりです。

安定成長バランス型: 年率 0.63396%程度 (税抜:0.587%程度)、積極運用バランス型: 年率 0.76464%程度 (税抜:0.708%程度)、外国株式プラス型: 年率 1.02600%程度 (税抜:0.950%程度)。

＜解約時にかかる費用＞

●解約控除

項目	費用	ご負担いただく時期
解約控除	解約日における保険料払込年月数が10年未満の場合に、基本保険金額に対し保険料払込年月数により計算した額	解約日の積立金額から控除します。

※ 解約控除額は保険料払込年月数、契約年齢、保険期間などによって異なり、具体的な金額を表示することができません。

※ 基本保険金額を減額されたときは、減額分は解約されたものとしてお取扱いします。

※ 保険料払込年月数が10年未満の場合にユニット・リンク払済保険への変更などをされる場合にも解約控除がかかります。

＜積立金の移転に関わる費用＞

項目	時期	費用	備考
積立金 移転費用	積立金の 移転時	【書面による移転申込みの場合】 月1回1,500円、2回目からは1回につき2,300円	毎回の移転について積立金から控除します。
		【インターネットによる移転申込みの場合】 月1回の移転は無料、2回目からは1回につき800円	

※ 積立金移転時は、その際必要となる移転費用の2倍相当額以上の積立金残高が必要です。積立金移転費用は将来変更される可能性があります。

＜年金払特約（06）、年金払移行特約による年金支払期間中にかかる費用＞

項目	費用	ご負担いただく時期
年金 管理費	年金のお支払いや管理などに必要な費用 年金額に対して 1.0%*	年単位の契約応当日に責任準備金から控除します。

* 3年の確定年金の場合、年金額に対して0.99%

※ 年金管理費は、将来変更される可能性があります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>